

「課題名：病的肥満患者における免疫細胞の機能評価」について

○ 研究の意義・目的

近年、食習慣、生活習慣の変化や運動不足に伴い“肥満”患者が増加しています。肥満症は、脂質代謝異常症、糖尿病、高血圧などのいわゆる生活習慣病と強く関わっていることから、日本においても重要な医療問題として考えられています。これらの問題を踏まえ、病的肥満患者に対する外科治療が注目され、盛んに行われるようになってきました。実際に病的肥満患者に対して減量手術を行うことで、減量効果や糖代謝が改善することが報告されています。しかしながら、病的肥満患者における肥満症手術前後の免疫学的変化について、これまで詳細に検討された報告はありません。本研究では、病的肥満患者の末梢血液・腹腔内脂肪における免疫細胞の比較から、病的肥満患者における肥満症手術前後の免疫学的変化を評価します。またこれらの結果を踏まえ、今後の病的肥満患者を含めた肥満患者の手術成績を改善するために、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2016年9月から2029年3月までに、広島大学病院 消化器・移植外科で腹部手術を受けられた患者さんのうち『消化器癌研究のためのデータベース登録』（疫-922）で同意いただいた方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、『消化器癌研究のためのデータベース登録』（疫-922）で同意を得て保存した試料（血液、腹腔内脂肪）から免疫細胞の解析を行います。また、患者情報においては、診療録（カルテ）情報を転記して用います。カルテから転記する内容は、性別、年齢、体重、血液検査（血糖値等）、術後経過等です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 2016年4月14日（委員会承認後）～2031年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5222

広島大学病院消化器外科・移植外科 教授 大段 秀樹（研究責任者）

広島大学病院 防府消化器病センター内視鏡外科講座

寄付講座助教 佐伯 吉弘（担当者）